

石碑の所在地

本年五月一日号に掲載した彦山川の岡森堰の少し上流の東岸に諏訪山という小高い丘陵があり、西端の彦山川の堤防道路側に「国境碑」と呼ばれる四角柱の石碑があります。



国境碑（上境）

諏訪山（上境）
西端の彦山川堤防に国境碑

諏訪山で行われる柱松の火祭り

諏訪山の東北部にある霊府神社では「柱松」という火祭りが疫病退散と五穀豊穡を祈願してコロナ禍以前は八月に行われていました。高い柱の上に竹籠を取り付け松明を投げ上げて点火を競う祭礼で近隣各所では行われなくなり、現在は直方市の上境と畑地区だけに残る貴重な無形民俗文化財です。

国境碑とは

ここという「国」とは律令制度に基づく地方行政区分で飛鳥時代から明治時代初期まで用いられました。碑には「従是東豊前国小倉領（これより東は豊前の国小倉藩の領地）」と刻まれており、対となる「従是西筑前国福岡領」の文字はありません。

国境碑の現状

現在でもこの石碑から北側が直方市（筑前国）、南側が田川郡福智町（豊前国）となっており境界点です。この碑は近隣地にありましたが、この地に二棟のホテルが建設された際に現在地の道路のすぐそばに移動されたとのことです。数年前にホテルは廃業し現在は金

属処理会社の敷地になっています。石碑のすぐ横にはゴミ収集箱の金網があります。

国境の村

この地は国境であったことから「境郷」と呼ばれ、彦山川の上流側が上境村、下流側が下境村となりました。明治二十二（1889）年の町村制の施行により、上境村・永満寺村・畑村・中泉村と田川郡市場村の一部（金田屋敷が福地村となり、下境村はそのままでした。

大正十五（1926）年に直方町・新入村・福地村・頓野村・下境村が合併して新・直方町に、昭和六（1931）年に直方市になりました。

境郷の特色と帰属先

江戸時代の福岡藩の学者貝原益軒の著書「筑前国続風土記」には境郷は糸島地方と並ぶ筑前国内屈指の美田の地であると書かれています。

また境郷の帰属先は江戸時代の黒田家入国以前の古文書では筑前国と豊前国が混在しており、肥沃な土地だけに戦乱の時代には支配者の交代があったものと推測されます。

直方の歴史と文化

文 桢 正 澄

文化財に関する問い合わせ：文化・スポーツ推進課社会教育係（TEL 25-23326）

インターネット
情報提供サービス

SNSやウェブサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

直方市Instagram



直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるのがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで

人の動き

■人口 55,721 人（－330）	□転入 157 人	□転出 132 人
【うち外国人 593 人】	□出生 29 人	□死亡 68 人
男 26,281 人（－179）		
女 29,440 人（－151）		
■世帯数 27,521 世帯（＋154）	令和4年7月末現在 （ ）は前年同月との比較	

<発行>直方市

〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号

URL … <https://www.city.nogata.fukuoka.jp/>

<発行日>毎月1日（月1回）

<編集>秘書広報課秘書広報係

TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107

E-MAIL … n-koho@city.nogata.lg.jp

<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

UD FONT